

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公表番号】特表2014-524266(P2014-524266A)

【公表日】平成26年9月22日(2014.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2014-051

【出願番号】特願2014-522864(P2014-522864)

【国際特許分類】

A 6 3 B 37/00 (2006.01)

A 6 3 B 45/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 37/00 L

A 6 3 B 45/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月19日(2015.5.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内側コア層と、

前記内側コア層を実質的に囲む外側コア層と、

前記外側コア層を実質的に囲む内側カバー層と、

前記内側カバー層を実質的に囲む外側カバー層と、

を含むゴルフボールであって、

前記層のうちの少なくとも1つが、約50～約60の第1のビカット軟化温度および第1の比重を有する第1の高度に中和された酸ポリマーと、約40～約60の第2のビカット軟化温度および第2の比重を有する第2の高度に中和された酸ポリマーとを含むブレンドを含み、前記ビカット軟化温度間の差の絶対値が約15以下であり、前記比重間の差の絶対値が約0.015以下であり、

前記外側コア層が、ポリブタジエンゴムを含みかつ少なくとも約5mmの厚さを有し、

前記内側カバー層が第1の熱可塑性材料を含み、前記外側カバー層が第2の熱可塑性材料を含み、さらには、

前記内側カバー層および前記外側カバー層のそれぞれの前記熱可塑性材料が個々に、ア イオノマー樹脂、高度に中和された酸ポリマー、ポリアミド樹脂、ポリウレタン樹脂、お よびポリエステル樹脂のうちの少なくとも1つを含むことを特徴とする、ゴルフボール。

【請求項2】

前記内側コア層が、前記ブレンドを含む、請求項1に記載のゴルフボール。

【請求項3】

前記内側コア層が、約45～約55の表面ショアD硬度を有する、請求項1に記載のゴルフボール。

【請求項4】

前記外側コア層が、前記内側コア層の表面硬度よりも高くかつ約50～約60の表面ショアD硬度を有する、請求項1に記載のゴルフボール。

【請求項5】

前記内側コア層が、前記内側コア層を半分に切断することによって得られる断面におけ

る任意の 1 点で 45 ~ 55 のショア D 断面硬度を有し、前記断面における任意の 2 点間のショア D 断面硬度の差が、±6 ショア D 単位以内である、請求項1に記載のゴルフボール。

【請求項 6】

前記内側カバー層が、前記外側カバー層と同じタイプの材料を含む、請求項1に記載のゴルフボール。

【請求項 7】

前記内側カバー層が、前記外側カバー層と異なるタイプの材料を含む、請求項1に記載のゴルフボール。

【請求項 8】

前記内側カバー層が、少なくとも約 65 の表面ショア D 硬度を有し、前記外側カバー層が、約 200 psi ~ 約 3,000 psi の曲げ弾性率を有する、請求項6に記載のゴルフボール。

【請求項 9】

前記内側カバー層が、少なくとも約 65 の表面ショア D 硬度を有し、前記外側カバー層が、約 200 psi ~ 約 3,000 psi の曲げ弾性率を有する、請求項7に記載のゴルフボール。

【請求項 10】

前記内側コア層が、約 19 mm ~ 約 32 mm の直径を有する、請求項 2 に記載のゴルフボール。

【請求項 11】

前記内側コア層が第 1 の反発係数を有し、前記ゴルフボールが第 2 の反発係数を有し、前記第 1 の反発係数が前記第 2 の反発係数よりも大きい、請求項 2 に記載のゴルフボール。

【請求項 12】

第 1 の高度に中和された酸ポリマー : 第 2 の高度に中和された酸ポリマーの比率が、約 20 : 80 ~ 約 80 : 20 である、請求項 1 に記載のゴルフボール。

【請求項 13】

前記外側コア層が第 3 の比重を有し、前記内側カバー層が第 4 の比重を有し、前記第 4 の比重が前記第 3 の比重よりも大きい、請求項 1 に記載のゴルフボール。

【請求項 14】

前記第 1 の高度に中和された酸ポリマーおよび前記第 2 の高度に中和された酸ポリマーが、同じカチオン源によって中和されている、請求項 1 に記載のゴルフボール。

【請求項 15】

第 1 のビカット軟化温度および第 1 の比重を有する第 1 の高度に中和された酸ポリマーと、第 2 のビカット軟化温度および第 2 の比重を有する第 2 の高度に中和された酸ポリマーとを混合するための方法であって、

前記第 1 および第 2 のビカット軟化温度間の差の絶対値を約 15 以下に制御し、前記第 1 および第 2 の比重間の差の絶対値を約 0.015 以下に制御する工程と、

それぞれの高度に中和された酸ポリマーを軟化させる工程と、

前記軟化された高度に中和された酸ポリマーを混合して、ブレンドを形成する工程と、を含む方法。